

自治体の “避難所運営のリアル”を知ろう!!

2022/09/27

宮城県・塩竈市

基本情報



所在地

宮城県中央部

人口

52,697人（令和4年8月末日時点）

特に対策の 必要な災害

地震、津波、大雨

市の特徴

- 鹽竈神社・志波彦神社の門前町で、日本三大船まつりである塩竈みなと祭りを開催している
- 特定第三種漁港 塩竈漁港を有している
- 名所・名物は、鹽竈神社・志波彦神社、生鮮生マグロ、練り製品など

宮城県



避難所運営のプロセス（実態）

平常時 （準備）

- 避難所開設・運営マニュアルの内容を確認する。
- 班長は、開錠用の鍵等の確認を行う。
- 備蓄品等の確認を行う。

災害発生時

- 災害に応じて、自動開設若しくは開設指示を受け避難所配備職員が(主に市内の小中学校)を開設する。
- 開設にあたって、適切な感染症防止対策を講じる。

避難者 受け入れ時

- 避難所の被害を確認したのち、受付を設置し、発熱者等を専用スペースへ案内する。
- 避難者に対して、避難者カードへの記入を案内し、体調確認（健康調査カードの記入）を行う。
- 避難者カードをもとに避難者数を集計し、災対本部等へ報告。

避難者 滞在時

- 住民による避難所運営委員会の立ち上げ、運営の支援を行う。
- 備蓄品や支援物資の管理や避難者の体調を把握し、適宜、手助けが必要な方へのサポート等を行う。

やること

課題

- 若手～中堅職員を避難所配備職員としているが、中堅職員が少なく若手職員中心の配置となってきた。
- 避難所配備職員は、市内及び近隣市町に居住している職員が減少し、避難所配備職員の確保が困難となってきた。
- 業務多忙から備蓄品の確認は年1度の総合防災訓練のみ。

- 休日夜間では、避難者の到着時に、学校職員や避難所配備職員が到着していない(鍵が開いていない)場合がある。
- 班長が避難所への到着が遅れ、開錠に時間を要する場合、本部等より支援が必要となる。

- 避難所配備職員数が限られており、全ての準備を終えるのに時間を要する。
- 避難所開設準備と避難者対応の同時対応が困難である。
- 避難所の状況を災対本部が容易に把握できない。
- 自動車避難した市民等の対応が困難。

- 避難所運営委員会を立ち上げる際、町内会長等と連携し住民参加の協力を得ていく必要がある。
- 職員のみで対応することは不可能なので、住民の参加を促していく。

避難所運営のプロセス（理想）

平常時
(準備)

- 災害が発生しても避難所を開設できるように、避難所開設の手順等を避難所配備職員が把握しておく。
- 災害時に対応できるよう、備蓄品等の整理及び管理を行う。
- 避難所配備職員の入替え要員を決めておく。

災害発生時

- 夜間や休日などであっても、円滑に避難所が開設できるようフォロー体制を整えていること。
- 配備職員が参集できない場合の代替職員を決めておくこと。

避難者
受け入れ時

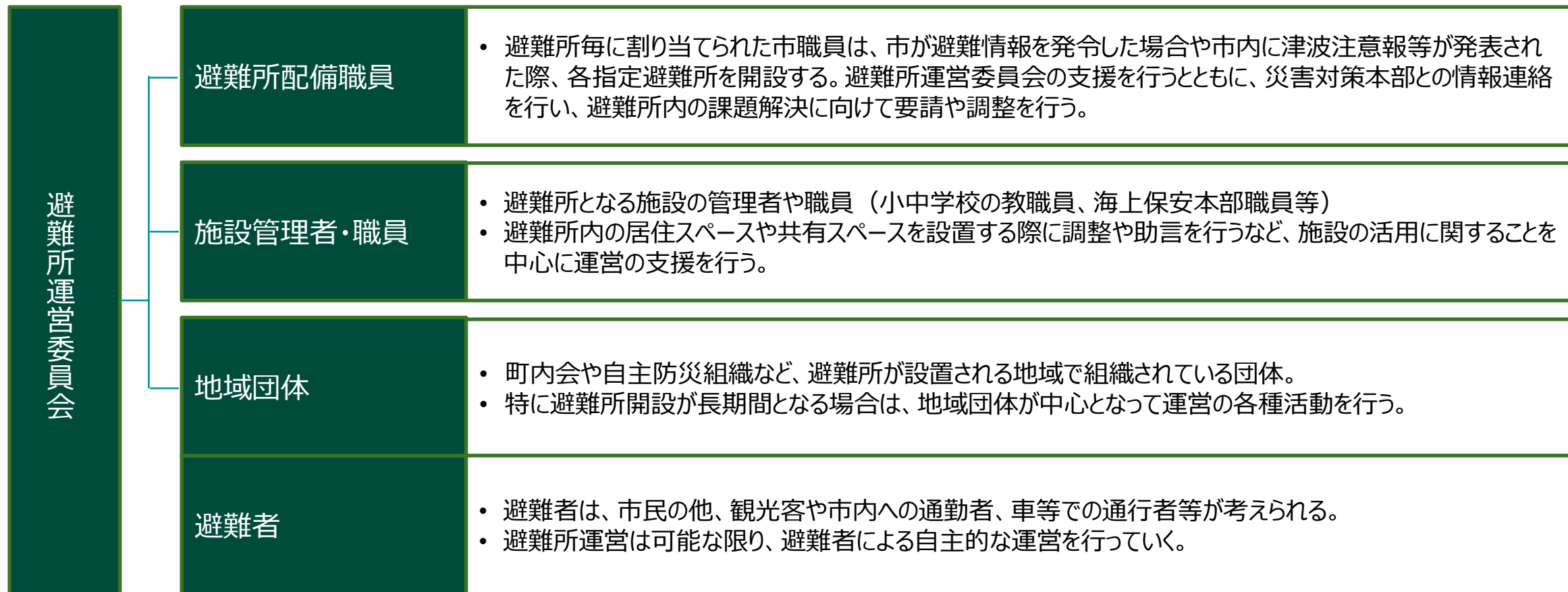
- 避難所開設にあたり、住民の協力を得てスムーズに開設準備を終え受け入れ体制を整えること。
- 全ての避難所が遅滞なく開設準備を終えること。
- 避難所開設準備状況などを災対本部等が把握できること。

避難者
滞在時

- 避難者による避難所運営委員会をスムーズに立ち上げ運営を行う。
- 避難者のニーズを把握して必要な支援を行う。
- 避難所を長期開設となった場合、配備職員を定期的に入れ替えを行う。

避難所運営の体制

塩竈市では、避難所毎に割り当てられた避難所配備職員が施設管理者等の協力を得ながら開設準備を行う。その後、町内会等の地域団体からなる「避難所運営委員会」が避難所運営を行い、必要に応じて避難所配備職員が支援する体制としている。



塩竈市における検討課題

課題	対応案	問題点
指定避難所や災害現場の状況や混雑状況等をリアルタイムで把握したい	監視カメラの設置 ⇒ Safie Pocket2などを利用する	避難所へのカメラ設置によるプライバシーの確保 ⇒ 管理カメラ設置ガイドライン等の整備が必要